

# 他者の多様な考えに触れ、 自己のよりよい生き方を考える指導の工夫

—考えが見える、広がる、自分を見つめる

『こころの見広（けんこう）シート』を活用した道徳科の授業を通して—

特別研修員 道徳 金井 康朗（小学校教諭）

## 児童の実態

- ☆道徳的価値を自分の生活と関連させて考えられない。
- ☆他者の考えと比較して、自分の考えを更に深めることができない。

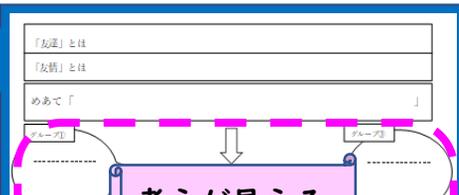


## 手立て

### 「こころの見広シート」の活用

主題名 たがいに高め合いながら B-(10) 友情・信頼  
教材名 「ドッジボール対決」（出典：光村図書）

## 導入



## 展開前段

考えが見える  
考えが広がる

## 展開後段

自分を見つめる

## 終末

### 3 自分の考えの変容を見つめる活動

○導入で考えたためあてについて、もう一度考える。

「友達と高め合う友情とは？」

- ・友達と信頼し合い、協力すること。

### 4 自己のよりよい生き方を考える活動

○自分の生活を振り返ることで、自己のよりよい生き方について考える。

「友達と高め合うため、どのように過ごす？」

- ・相手との信頼関係を壊さないように気を付けて過ごしたい。



- 1 他者の多様な感じ方、考え方に触れ、物事を多面的・多角的に考える活動
- 2 自己を見つめ、よりよい生き方について考える活動

## 導入 「友情」とは

- ・仲がよいこと。
- ・一緒にいること。
- ・けんかをしないこと。

## 中心発問

ドッジボール対決まで1組の友達と話をしないと決めた。それを聞いた1組の友達に「そんなのって、おかしくない？」と言われた時の「ぼく」の気持ちは？

### 1 他者の多様な感じ方、考え方に触れる活動

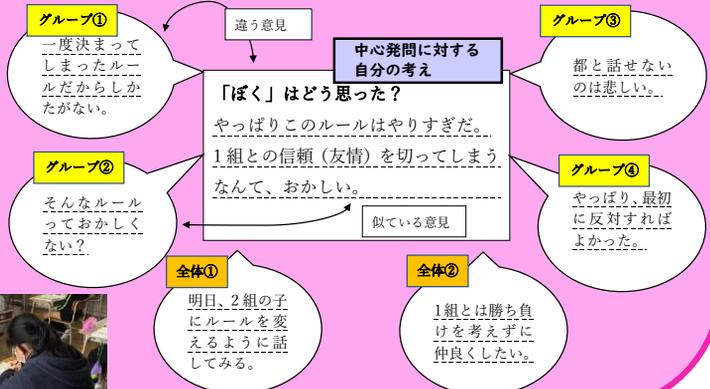
○中心発問に対する自分の考えをシートの中央に、**班員（他者）**の考えを**グループ①～④**に記入する。



＜他者の考えに触れる児童＞

### 2 物事を多面的・多角的に考える活動

○全体での共有の場面で、他班の友達の考えで「いい考えだな」と思ったことなどを**全体①・②**に記入する。



＜自分の考えを見つめる児童＞

## 他者の多様な考えに触れ、自己のよりよい生き方を考える児童

### 成果

- 「シート」前半の活用により、グループや全体で考えを共有したことで、自他の考えが比較しやすくなった。
- 「シート」後半の活用により、自分の考えの変容や他者の意見を可視化することができた。
- 他者の考えに多く触れることで、自分の考えを見つめることにつながり、よりよい生き方を考えることができた。

### 課題

- 「シート」の枠の大きさや構成を変更することにより、実態に合わせて考えを書く量を調整することができ、高学年だけでなく、どの学年でも活用していきたい。
- 「自分を見つめる」（展開後段や終末）活動で、自己のよりよい生き方をしっかりと考えさせるためには、展開前段で板書による考えの共有場面を充実させる必要がある。

